

ポリオの予防接種に関するお知らせ

～9月1日から接種の方法が変わります～

国では、平成24年9月1日から、単独の不活化ポリオワクチンを定期接種として導入する方針を示しています。東通村でも、定期接種への導入に合わせて、不活化ポリオワクチンの定期接種が実施できるよう準備をすすめています。



当面の間、集団接種での実施を予定しており、対象となるお子さん（実施日時時点で生後3か月～90か月で生ポリオワクチンの2回接種が完了していないお子さん）には、個別にお知らせします。

これに伴い、11月に予定されていた生ポリオワクチンでの集団接種は行いません。

	平成24年9月1日から	参考（これまで）
使用するワクチン	不活化ワクチン	生ワクチン
接種方法	皮下に注射	経口接種（口から飲む）
接種をお勧めする年齢（標準の接種年齢）と接種方法	初回接種（3回） ・生後3か月～12か月の間に20日～56日の間隔で3回 追加接種（1回） ・初回接種3回終了後12か月～18か月の間に1回	生後3か月～12か月の間に41日以上の間隔をあけて2回
対象年齢	生後3か月～90か月（7歳6か月）未満	

■お子さんのポリオワクチンの接種歴に応じた今後のポリオワクチンの接種方法

- ①生ポリオワクチンを**未接種**の場合→不活化ポリオワクチンを4回（初回3回、追加1回）接種
- ②生ポリオワクチンを**1回接種**している場合：不活化ポリオワクチンを3回接種
- ③生ポリオワクチンを**2回接種**している場合：接種の必要はありません。

風しんの流行に関するお知らせ ～妊婦さんとおなかの赤ちゃんを風しんから守ろう～

7月に入り、近畿地方や関東地方で風しんが流行しており、今後全国的に広がる恐れがあります。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦さんは風しんの予防接種ができないので、家族やまわりの方が予防することが大切です。



～妊婦さんが風しんに感染しないように、次の方には予防接種（任意接種）をお勧めします。～

- ①妊婦さんの夫やお子さん、同居の家族
- ②10歳代後半から40代の女性（特に、妊娠を希望している、妊娠する可能性が高い方）
- ③産後間もない女性

*ただし、あきらかに風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがある、抗体が陽性であると確認できた方は除きます。

*予防接種の費用は自己負担となります。また、料金については医療機関ごとに異なるため、医療機関へお問い合わせください。